



書あり 師あり 友ありて

「地域に学ぶトライやる・ウィーク」へのご理解・ご協力

本当にありがとうございました

学校長 平田 高之

6月3日（月）より、令和最初の「地域に学ぶトライやる・ウィーク」が、神戸市を含む校区内外61もの事業所で、74回生がお世話になり、7日（金）に無事に終わりました。

各事業所を巡回する中で、指導ボランティアの方から、「とてもよく頑張ってくれています。」「声がよく出ています。」「頼まれたことだけでなく積極的に取り組んでくれています。」という大変嬉しい声を頂きました。

私が訪ねたデイサービスの事業所では、利用者の方から、「この生徒たちは一生懸命話を聞いてくれるし本当に素直で素晴らしい。自分の子どもにほしい。校長先生、成績をオール5にしてあげてください。今日で終わりですが、来週も是非来させて下さい。」とおっしゃって頂きました。その事業所に参加した生徒から、「とても感謝してくれて人のために役立つ仕事ができとても嬉しかった。来週も続けて行きたいです。」「お年寄りの方からいろいろな話を聞かせてもらい、とても勉強になりました。最後のお別れの時に涙を流してくれました。」という、とても感動的な感想を聞かせてくれました。

また、モルタルの開発・製造をしている会社で研究をしている事業所では、製品開発や製品保証に対する、指導ボランティアの方が、仕事への責任感や熱い思いを語られていて、その姿に私も感銘しましたが、生徒たちにとっては働くことの意味を深く考える機会になったと思います。

本事業は22年目を迎え、教職員の負担や事業所確保の難しさ、行事化・マンネリ化しているではと課題を指摘する声もあります。しかしながら、本校区では、ありがたいことに、生徒が希望する範囲で活動できるだけの事業所が確保されていますし、この5日間の社会体験から、生徒たちは社会の一員であると感じ、さらには、働くということ、社会に貢献するということはどういうことか等、多くのことを学んでくれており、大変有意義な事業だと考えております。成長した生徒たちのこれからの**其期待**していますし、お家でもお子さまの心が熱いうちに、是非感じたことをお聞き頂けたらと思います。

また、7月5日（金）の6校時に、「2019トライやる報告集会」を予定しています。

内容としましては

- 生徒たちの活動のスライド
- 生徒による事業所報告
- 事業所の方から 等です。

本校体育館で行いますので、お時間のある方は、是非お越し頂けたらと思います。



本事業の成功は、74回生を受け入れて下さった事業所や地域の皆様のご理解・ご協力の賜物だと思っております。本当にありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

今回は生徒総会です！

先日はPTA総会が行われましたが、この14日には「2019年度 大蔵中学校生徒総会」が行われます。民主主義を体得し、自治の精神を培うもので、本校の校是でもある「自律・友愛・創造」の要素がすべて入った大変重要な行事です。特に、若者の社会参画等に対する意識の低さ（投票率の低さ）が社会問題となり、18歳選挙権が認められ、中学校・高等学校においては主権者教育が行われるようになってきている現代では、さらにその重要性は増していると考えています。

「今年度の大蔵中学校を築いていくうえで、中心となる生徒一人一人の意見を発表し、討論することを通して、生徒会の一員としての意志を確立する。」という目的のもと、5月に入ってから1か月、生徒会執行部・評議会を中心に、生徒会・各委員会の活動方針、議案書作成、学級討議などを経て、この14日に備えてきました。

各学級から出された意見は、「球技大会の復活」「クラブ行進ではなくクラブ対抗リレーにしてほしい」等学校行事のこと、「南校舎にエアコンをつけてほしい」「トイレトペーパーを2重にしてほしい」等施設設備のこと、「カバンを指定でないものにしてほしい」「合服期間を延ばしてほしい」等生活面に関すること等、さまざまです。自分たちの学校生活を、自分たちで見直し、よりよくしようとする姿勢は大切に、一つでも多く実現できるよう応援したいと考えています。

実際、カバンについては、先日のPTA幹事会で生徒指導担当者から話をさせて頂きましたが、生徒たちや保護者の皆様の声を聞きながら、今後検討を進めていきます。

ここで、生徒会長の高橋 信太郎君のインタビューを紹介させていただきます。

○どのような学校にしたいですか

「リーダー任せでなく、一人一人が自分から動く意識を持てる学校にしていきたい」「自分からあいさつができる学校に。あいさつ運動をしていると、1年生は自分からあいさつをしてくれるけれども、2、3年生と学年が上がるにつれてできなくなっている。生徒会執行部・風紀委員からあいさつされる前に自分からしてもらいたい。」

○なぜ会長に立候補したのか

「2年生で評議員をしてクラスをまとめるのも大変な中、先輩の姿を見て、自分も役に立ちたいと思った。いい経験にという考えは自分目線だと先生から話をされハッと思い、全体のためという思いになった。」

○大蔵中学校の良いところは

「中1の2学期に転校してきて学校になじめるか心配だったが、みんな明るくやさしかった。後は素直な心の生徒が多いところ。」

○逆に悪いところは

「明るいけど、はじめがつかない時がある。」

自分の経験のためではなく、学校全体のために役に立ちたいという思いにとっても感銘しました。会長は毎朝のあいさつ運動も誰より早く来ており、まさしく率先垂範を心掛けています。生徒会執行部・評議会・各委員の生徒たちの学級・学年・学校のためという思いが、今の大蔵中学校の力なのだと実感しています。